

賀川豊彦記念 松沢資料館
 資料館ニュース
 Kagawa Archives & Resource Center Newsletter
 No. 91
 賀川豊彦
 絵：賀川豊彦

賀川豊彦の 多岐にわたる活動

館長 黒川知文

「一粒の麦がもし地に落ちて死ななければ、それは一つのままです。しかし、もし死ねば、豊かな実を結びます」
 ヨハネ福音書一章二四節

七月に館長を拝命して十二月まではあつという間に過ぎた。表敬訪問により多くの方との出会いがあり、それらを通して賀川豊彦の偉大さをさらに確認することができた。

表敬訪問

館長としての初仕事は、コロナ禍の暑い中での表敬訪問であった。石井新理事長と刈谷常務理事と三人でマスクをして、八月には日本生活協同組合連合会と日本コープ共済生活協同組合連合会、九月にはこくみん共済coopと全国共済農業協同組合連合会を訪問した。十月にはコープデリ事業連合会とコープみらいの来訪があった。いずれも国民生活をしっかりと支えている団体であり、賛助団体として資料館を財政的に支援して下さっている。代表理事と理事等の方々も暖かく私たちを迎えて下さり、新任の挨拶をして、しばし事業の現状と創立者について歓談した。これらの団体は賀川豊彦の直接的、または間接的な影響によって創設され、今も大きな役割をはたしている。

ている。また日本生活協同組合連合会一階にある賀川の胸像(彩色乾漆彫刻)や、全国共済農業協同組合連合会特別室に大切に掲示されている賀川の書の掛け軸を拝見して、創設者の精神が指導者層に確実に受け継がれていることが確認できた。「組合員が愛他であるならば、協同組合の収益の一部を社会の利益に向けていく価値を認めるであろう」(『友愛の政治経済学』)との賀川の言葉は、各種の給与奨学金制度等にも実現していることも知った。



も実現していることも知った。

「一粒の麦」としての賀川は六十年前に召天したが、日本社会において、今も確実に大きな実を結んでいる。賀川による神の国運動しか知らない私にとつては、刮目の、そして喜ばしい事実であった。多岐にわたる賀川の活動。研究対象を広げなければならぬ。

懇談会では、資料館のオンライン研修について説明し、職員研修と教育に資料館を利用して下さることを約束して下さった。「協力してこの苦難を乗り越えましょう」有意義な時間であった。

賀川豊彦の協同組合の中心思想

利益共楽…一人ひとりが利益を分かち合う
 人格経済…人間中心の経済社会
 資本協同…皆が出資しあい、生活を豊かにする資本として活かす

非搾取…搾取がな

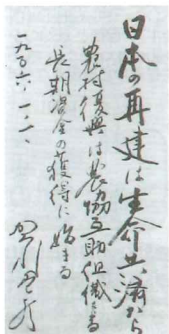
くなれば

非格差社

会が実現

する

権力分散…権力を



分散し、人権を保障する
 超政党…特定政党に偏しない
 教育中心…生活者としての意識
 と知識の向上を図る

引継ぎ会

九月下旬には、前館長の金井新二先生と引継ぎ会を持った。金井先生は二〇一四年四月から館長に、二〇一八年からは理事長を兼任され、これまで六年間、重責を果たされた。日常の煩雑な資料館運営に加えて、賀川豊彦シンポジウム、松沢フォーラム、カガワカフェ、賀川豊彦賞と出版助成等、多岐にわたる新たな活動も運営された。さらに『資料館ニュース』と『雲の柱』の巻頭言で、賀川豊彦の思想を紹介しつつ、日本のキリスト教会や日本の将来に関して貴重な提言をされてきた。これまでの先生のお働きに感謝して「今後は私たちにお任せください」と握手をもって館長職を引き継いだ。先生の賀川研究は以後も継続されること。

賛助会員も増加した。香川県から私の幼馴染みも加入して下さり嬉しく思っている。まだまだ問題山積だが一つ一つ解決して、やりがいがある昨今である。

皆様と共に歩み、神の栄光をあらわす資料館でありたい。



黒川知文 (くろかわ ともぶみ)

文学博士(東大)、愛知教育大学名誉教授、中央学院大学教授、聖書キリスト教会牧師。1954年香川県生まれ。東京外国語大学卒業後へブライ大学に留学し、一橋大学、イエール大学、東京大学の各博士課程で学ぶ。東京大学、慶應義塾大学、東京外国語大学でも講じる。著書に『日本史におけるキリスト教宣教』(教文館)、『西洋史とキリスト教』(教文館)等多数。賀川豊彦関連論文に「再臨運動と神の国運動—内村鑑三と賀川豊彦の終末論—」、「豊島における賀川豊彦(一)」「賀川豊彦による神の国運動と戦争」等。

コロナ禍での現状報告

昨年1年の世相を表す漢字は「密」でした。年が明け「緊急事態宣言」が発出され現在に至り、日々の活動は完全に制約されております。このような状況の中、三法人（学校法人、社会福祉法人、財団）は、一丸となってコロナ感染防止対策に取り組み「賀川豊彦記念松沢資料館」は、開館運営をさせていただいております。

毎年1月に開催されてきました「カガワ・スクーリング」（協同組合関係団体関係者の垣根超えた合同研修）は中止となりましたが、協同組合関係団体研修（日本農業新聞社様、東都生協様等）が1931年に献堂された礼拝堂にて、少人数で実施されています。併せてweb研修対応も実施されています。またメールや電話での問い合わせ後に資料館に来館される方や一般の方々には、入館時の健康チェック&緊急時の対応連絡票の記入にもご協力をいただいております。

今年度（2021年）は、賀川豊彦が創設した「松沢教会」「松沢幼稚園」が90周年を迎えます。来年（2022年）は、当財団「賀川豊彦記念松沢資料館」開館40周年、そして翌2023年は「(仮称)賀川豊彦関東大震災復興ボランティア100周年」等、今後100周年を迎える事業が目白押しです。

コロナにあつて「混沌とした時代」とか「難しい時代」と称されますが、私たちは、キリストの贖罪愛に生かされて、隣人愛の実践に生涯を捧げた、賀川豊彦の精神と働きを継承してまいります。

今後とも賛助会員・団体のみなさまのご支援、ご協力をお願い申し上げます。

(公益財団法人 賀川事業団雲柱社 常務理事 刈谷雅夫)

第五回賀川豊彦賞授賞式

2021年1月26日(火) 午後14時～14時40分
会場 賀川豊彦記念松沢資料館 礼拝堂

第五回を迎えた「賀川豊彦賞」の授賞式は、新型コロナウイルス感染防止「緊急事態宣言」を受けて、急遽YouTubeでのライブ配信と受賞団体と双方向での通信可能なZoomをつなげての授賞式となりました。

2020年度「第五回賀川豊彦賞(奨励賞)」は左記の4団体を受賞いたしました。

- 特定非営利法人 チェンジングライフ
- 代表 野田詠氏(のだ えいじ)様
- NPO法人 Fine(ファイン)
- 代表 松本亜樹子(まつもと あきこ)様



石井理事長による授与式



NPO法人「Fine」▶
松本様



◀オンライン参加の受賞団体様も一緒に記念撮影

網地島ふるさと楽好

代表 奥田和慶(おくだ かずよし)様

芝園(しばの)かけはしプロジェクト

代表 圓山王国(まるやま おうこく)様

当日は受賞団体代表として会場にお越しいただいたNPO法人「Fine」代表 松本亜樹子様、理事 野曽原誉枝様へ、表彰状、賞金目録、記念品の授与をさせていただきました。

また、Zoomにてほかの受賞団体様とも双方向の対話をしつつ、和やかな会を開催することができました。



『死線を越えて』 読書感想文 コンクールのご案内

賀川豊彦の代表作『死線を越えて』（上巻）が刊行されてから、2020年には、100周年を迎えました。これを記念して、この度『死線を越えて』読書感想文コンクールを開催することとなりました。多くの方々からのご応募をお待ちしております。

対象図書

『死線を越えて』（上巻）1920（大正9）年10月3日初版刊行）
○現在購入可能なもの

- ① 鳴門市賀川豊彦記念館版（当館において購入可）
 - ② アジア・ユーラシア研究所版
- ※上記以外の既刊本、文庫本、PHP版等も可とする。

応募資格

- ① 青少年の部 13～18歳までの方
- ② 成人の部 18歳以上（高校在学者は青少年の部で応募）の方

用紙・字数

- ① 原稿用紙または、A4サイズ横書き
- ② 2000文字程度

応募規定と方法

- ① 応募は日本語で書かれた作品に限る。
- ② 応募は個人のオリジナルで未発表の作品に限る。
- ③ 他の類似コンクールとの二重応募は認めない。
- ④ 応募作品は理由を問わず返却しない。
- ⑤ 手書き原稿は郵送にて。テキストデータはファイルをEメールにて事務局へ送信する。（office@kagawa.or.jp）

応募締め切り

2021年8月31日（当日消印有効）
審査 審査委員による厳正な選考会を経て、部門ごとに優秀な作品を選考する。

入賞

- 部門ごとに、①最優秀作品 ②優秀作品 ③奨励作品を選考する。

入賞発表

※入賞・入選作品の著作権は選出と同時に主催者に譲渡され、機関紙誌上にて一般公開する。
当館ホームページにて、2021年9月末に発表
表彰 ①賞状 ②記念品 ③図書券（50,000円を各部門の最優秀作品に授与）

今後の研修への取り組みについて

○オンラインによる研修を始めました

新型コロナウイルス感染症防止のため、当館では対面型の研修を見合わせておりましたが、未だ収束の目途が立たないことも鑑み、zoomを利用したオンラインによる研修を新たに始めました。つきましては、職員、教員研修をお考えの各協同組合、教会等の団体の皆様には、是非一度ご検討頂きたくご案内申し上げます。詳しくは、当館までご連絡下さい。



zoomを使ったオンライン研修の様子

○ご提供する研修サービス

- ① 動画『愛と協同』（15分）をzoom上で上映します。
- ② 講演『賀川豊彦の協同組合思想と実践』（他のタイトルもあります）※事前にPDFにて資料をお送りします。
- ③ ポケット学芸員による、バーチャル展示見学
- ④ 講師を交えての振り返りと対話（参加者による感想、気づきの分かち合い）
- ⑤ アンケート記入（ご希望があれば）
- ⑥ 総時間 約2時間

○ご利用料は、研修実施後に請求書を発行しますので、現金または銀行振込にてお支払い下さい。オンライン

研修費用 一律 20,000円（税込み・講師料込み）参加人数 上限50名様まで

資料館の日常から

①新体制での表敬訪問

○2020年度、新たな役員体制で、表敬訪問させて頂きました。お忙しい中お時間を頂戴し、誠にありがとうございました。



日本コープ共済生活協同組合連合会様



日本生活協同組合連合会様



全国共済農業協同組合連合会様



こくみん共済coop様

② 京都府綾部市長のご来館

○2020年11月10日、当館へ 京都府綾部市市長の山崎善也様、市長公室長の岩本正信様が共にご来館されました。綾部市は、かつて賀川豊彦が創設に尽力した世界連邦運動をいち早く推進し、1950年にわが国初の「世界連邦都市宣言」を行った自治体です。本年2020年は、この宣言から70周年を迎え、記念のDVDが制作されました。そこに賀川豊彦の画像をお貸ししたことから、今回のご来訪につながりました。その映像には、当時綾部市が世界連邦運動を推進するにあたって、賀川豊彦が招かれ講演をしたことが描かれています。



綾部市では「中東和平プロジェクト」として、イスラエル・パレスチナ双方から紛争で親族を亡くすなどした子ども（高校生）を日本に招き、相互交流することで互いの理解と信頼関係の醸成に役立てようという取り組みを行っています。2003年に綾部市が独自に取り組んだのを皮切りに、翌年には世界連邦自治体協議会が資金提供して全国各地で開催されています。かつて、

綾部市の皆様の平和への熱い思いと、賀川豊彦の実践活動が合流して、世界連邦を自治体が宣言して推進する先鞭がつけられました。やがてそれは奇跡的ともいえる、「中東和平プロジェクト」として現在、実を結んでいるのです。この灯がさらに多くの自治体へ広がることを願ってやみません。

③ YouTubeで賀川関連の映像がご覧いただけます

現在 YouTube に

○「賀川豊彦とはどのような人物か」 <https://youtube.com/ejsD8dtzHII>

○「A DAY WITH KAGAWA」 <https://youtube.com/GnkG9ndh4PM>

○「賀川豊彦立体年表 雲柱社「雲の柱に導かれて」収録作品（無声8分）」 <https://youtube.com/FcStHepTYDA>
以上三本の映像ををご覧ください。
STAY HOME 時間には是非活用ください。

◆◆◆新刊書籍案内◆◆◆

『地の塩世の光として』

来栖 ひろみ 著
— 償いの愛に生きた賀川豊彦の生涯 —



販売価格
1,540円(税込)

『賀川豊彦 互助友愛の教育と実業』

松野尾 裕 著



販売価格
4,400円(税込)

○松沢資料館HPからもご購入いただけます。

◆◆◆その他ご連絡◆◆◆

○お詫び コロナ禍の折、資料館ニュースの発行が遅れましたこと、お詫び申し上げます。また、今年度は毎年1月に開催される「カガワスクリーニング」も中止をさせていただきました。

○2021年4月より第六回賀川豊彦賞・第六回出版助成の受付を開始します。詳しくは松沢資料館HPをご覧ください。

○皆様のご意見で感想をお待ちしております。

◆◆ 発行者情報 ◆◆

『賀川豊彦記念松沢資料館 資料館ニュース』第91号
発行年月日：2021年3月31日
発行者：賀川豊彦記念松沢資料館
発行責任者：黒川知文
住所：〒156-0057 東京都世田谷区上北沢3-8-19
電話：03-3302-2855
FAX：03-3304-3599
メール：office@t-kagawa.or.jp
URL：https://t-kagawa.or.jp